

取組の概要

取組の概要 : 刈取から製品出荷までの効率的な作業体系の構築による販売額の増加
 計画作成主体 : 比布町地域農業再生協議会
 対象品目 : 大豆(産地面積:65ha)
 主な取組主体 : サポートK O Y O
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業(機械リース)
 状況 (コンバイン2台、乾燥機3台等)

ポイント

農家の高齢化や労働力不足が課題となっている基幹作物の「大豆」について、受託組織の効率的な収穫乾燥調製作業体系の構築と低温抵抗性等に秀でた新品種の導入により、安定多収・高品質生産を図り、販売額の10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 50ha
 出荷数量 : 128t
 刈取及び乾燥調製能力の不足による収量・品質の低下

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 65ha
 出荷数量 : 181t
 受託組織による刈取から製品出荷までの効率的な作業体系の構築や新品種の導入等により、収量・品質の向上を図り、販売額を増加



推進体制

地域の関係者(比布町、比布町農業協同組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 現品種「ユキホマレ」と比べて低温抵抗性に強く、子実重のある新品種「とよみづき」への転換実施
- 町・JA・普及センターなど関係機関で構成される比布町営農指導対策幹事会が中心となり、土壌分析など肥培管理の取組と営農指導による適切な生産管理を促進

事業効果

受託組織による収穫乾燥調製機械の一体的なリース導入と、新品種「とよみづき」への転換及び土壌分析など肥培管理の取組との相乗効果により、収量及び品質の向上を図り、産地収益力の強化を実現。

～大豆の販売額の増加～

